

おとずれ

【発行者】富士吉田カトリック教会

【住所】〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL) 0555-22-3199

(FAX) 0555-25-7002

2023年5月第489号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

「聖母月をマリアと共に」

サレジアン・シスターズ シスター門奈正子

美しい春が訪れ、今年もまた聖母月がやってまいりました。天も地も小さな草花も、聖母とともに神様の恵みを精一杯たたえています。以前、ご紹介いたしましたが、わたしたちサレジアン・シスターズは、150年前、イタリアで聖ドン・ボスコによって創立されました。「わたしたちを導いたのは聖母です。」との彼の言葉に信頼し、聖母の娘との意識を世界中の姉妹たちが高め、聖母のもとに馳せ寄っています。

皆様もよくご存じのカナの婚宴の奇跡があります。「何でもこの人がいうとおりにしてください。」(ヨハネ 2章5節) この言葉は、聖母マリアが私たち皆に贈られた唯一の言葉ではないでしょうか。そして愛を分かち合ってくださいましたのです。

聖母ご自身、大天使のお告げを受けて、神の母となることの「フィアト」を宣言しました。カナの婚宴のまっただなかブドウ酒がなくなったことにすぐに気づき、そのことをイエスに伝えます。でも、その答えが「婦人よ、わたしとどんなかわりがあるのです。わたしのときはまだ来ていません。」(ヨハネ 2章4節) この返答は驚くほど冷淡な言葉に感じられます。マリアはイエスの力を信じ、言われた通りにするようにと確信をもって召使たちに話しています。神の母となる偉大な使命のみことばを信じたマリアは今度、ここではご自分の信仰を召使たちに伝え、彼らが信じて従うよう助けています。毎日繰り返されている私たちの日常生活の中でも、マリアがイエスに結びつけてくれ、喜びが与えられています。私たちの人生の同伴者としていつも一緒に歩んで下さっていることを心にとめ、この聖母月に世界中の人々と声を合わせて感謝の祈りを捧げましょう。「マリア様」といって親しんでいる子供たちに感心させられることがあります。学校が終わり、くじらっこにやってきますが、ルルドの聖母の前で「アベ・マリア」の祈りを唱えてから中に入ってきます。また時々皆で聖堂を訪れ、「マリア様のところ」を歌い、「アベ・マリア」を祈り、最後に「聖マリア、わたしたちのためにお祈りください。」と自分たちで付け加えています。この子供たちの純粋な美しい心を聖母がほほえんで見守ってくださっていることでしょう。この子供たちのようにきよい心で聖母を讃え、よりすがってまいりましょう。

日頃、富士吉田教会の皆さまにお世話になり、心から感謝申し上げ、皆さまを聖母に委ねて祈ってまいりたいと思います。聖母がみ手をさしのべてくださいますように。

主の復活とともにわたしたちが、そしてこの世界が新しくされることを信じ、歩き出しましょう。

四旬節黙想会

指導司祭 阿部仲麻呂神父(サレジオ会)とともに

東海林 義夫(使徒ヨハネ)

まず、最初に『毎年「四旬節」と「待降節」中に心の点検が必要です。』と述べられ、
‘キリストと共に生きる’がテーマでした。十分に祈れない人の為に支えてあげる。人の為に祈ること
で共同体の為に成り、今回の黙想会の中心になる。41年前に受洗され、聖堂で信者さん達が、ひざ
まずいている姿に育てられた体験を述べられました。信仰の深みを集中してキリストの向ける信者の
後姿は、世代を超えて伝わって行きます。

次に、教皇フランシスコの回勅『ラウダート・シ』-2015年5月24日公布についても話され、特徴
は、一つの家族。

◎一つ一つ噛み砕いて分かり易く説明、回勅『兄弟の皆さん』参照。(2021年9月17日発行)

◎素朴な生き方で回勅を読むことにより相手に伝わる。『ガラテヤの信徒への手紙』5.22を引用さ
れ、「やさしさ」「思いやり」が、愛と「平和」に繋がる。

「やさしさ」「思いやり」「親切」をキーワードに講和を締めくくられました。

デオ・グラティアス

『ありがとうございました』

パウロ 山本一孝

この度、富士聖ヨハネ学園を昨年に定年退職し、家の事情もあり実家のある北海道北広島市に帰るこ
とになりました。

平成15年、小金井市にある社会福祉法人聖ヨハネ会の法人本部に入職し、平成21年に富士聖ヨハネ
学園に異動になり、初めて山梨の地を踏むことになりました。実は私の東京在住時代は麹町教会(イグ
ナチオ教会)に所属しており、信徒同士の集まりで山中湖の撫岳荘でのキャンプ黙想会に参加していま
した。日曜日ミサをあずかりに富士吉田教会には数回おとずれており、まさか所属教会になるとは思っ
ておりませんでした。皆さんは私たちを心よく受け入れてくださり、家内の美和さんはまだ未信者でし
たが、林大樹神父様から洗礼も授かりました。

教会での行事は思い出がいっぱいです。コロナ禍でここ数年自粛していますが、復活祭、クリスマス会、
日曜学校のキャンプ、そして、フランシスコ教皇ミサは感動的でした。

このような皆さんとの活動を通して、皆さんとのつながり、信仰が深まりました。

これからは皆さんとは遠くなりますが、信仰のつながりはどこにいても結ばれています。

皆さんからいただいた、優しさ、思いやりを糧にして私たちは新たな地で信仰生活を送り、北海道から
お祈りしたいと思います。

15年間、本当にお世話になりました、またお会いできる日を楽しみにしております。

『15 年間ありがとうございました』

マリア・テレジア 山本 美和

私の父は岐阜の浄土真宗のお寺の子で、お寺さんは私も小さい頃にお堂やお墓で従兄弟と鬼ごっこをしたり親しみのある場所で、朝起きるとお堂でお経をあげるなどしていました。

2005 年、縁があり聖ヨハネ会桜町病院聖ヨハネホスピスで勤務することになりました。

そこで、初めて神父様やシスターたちと出会いました。お名前を存じあげないシスターでしたが、毎朝ホスピスの病室の前でお祈りをされている姿をみました。その病室に患者さんがいるかいらないか、病状など何もご存知ではありません。ただひたすら静かにお祈りをするシスターを見た時に、朝の日の光が差し込み、天使がいるかのようで、とても感動したことを覚えています。振り返ると、その時に神様が私の心にキリストの光を灯してくださったのかなと。

ヨハネ会本部に勤務していた一孝さんは、毎週金曜日の夜にホスピスのバーのボランティアをしていました。当時、泊まり込みで介護されているご家族もいて、私も声をかけてもらいよく参加していました。おそらく、職員で一番飲んでいました^^;

2008 年にマザー・テレサの生誕 100 周年のイベントがありました。私は以前からマザーのされていることにとても尊敬していて、インドのマザー・ハウスに行き「死の待つ人の家」でボランティアをしていたこともあり、一孝さんとそのイベントに行くことになりました。

それまではヨハネ会の同じ職員というだけの存在でしたが、イベントの後に 16 時から終電まで居酒屋で話し続け、その日のうちにお付き合いが始まり、その翌年に結婚しました。

同時に、一孝さんの富士聖ヨハネ学園への転勤が決まり、富士吉田に越してきました。

初めは東京生まれ東京育ちの私にとって、県外に行くことは不安も多かったですが、教会のみなさんが暖かく迎えてくださり、とてもほっとしたことを今も覚えています。そして、2010 年に林神父様から洗礼を授かりました。

不思議なことに、義母もテレジア、一緒に働かせていただき代母にもなっていただいたシスター大屋もテレジア、そのことは当初知らずにいた私もテレジアに。神様のはからいでしょうか。

その後、病気にもなりましたがみなさんのお祈りに支えられました。教会のみなさんに出会えたこと心から感謝しております。これから、北海道での生活が始まります。遠くに離れますが教会の皆さんのことをお祈りしています。くれぐれもお体お大切になさってください。本当に本当にありがとうございました。



お知らせ

◎教会連絡網につきまして

ミサの中止など教会からの連絡を、今までは各地区のお世話役から電話連絡で行っていましたが、今年の復活祭以降、LINEを利用できる方は地区別グループLINEを活用することになりました。内容は以下の通りです。

- ・カトリック富士吉田・河口湖グループ（お世話役：江守香代子）
- ・カトリック富士吉田・富士吉田グループ（お世話役：新井静香）
- ・カトリック富士吉田・都留、西桂、大月グループ（お世話役：志村好直）
- ・カトリック富士吉田・山中湖、忍野グループ（お世話役：志村好直、江守香代子）
- ・日曜学校グループ（お世話役：大野隆）

です。ご希望の方には各お世話役より招待が届いていると思いますが「まだグループLINEに友達登録されていないみたい」と思われる方は、各お世話役にお声掛けください。

もちろん、今まで通り電話や個別対応も可能ですので遠慮なくお申し出ください。

◎四旬節献金・トルコ地震献金のお知らせ

今年度四旬節献金は38,000円

また2月6日に発生した「トルコ南東部地震救援募金」は69,200円でした。

全額カリタスジャパンに送金いたしました。

皆さまのお気持ちで、世界で苦しむ人々のために有益に届きますように・・・

ご協力ありがとうございました。

教会記録

◎異動 サレジアン・シスターズ山中雪の聖母修道院

- ・よろしくお願いいたします。

シスター 唐木 幸子 別府修道院より

シスター 石田 紀子 赤羽 扶助者聖マリア修道院より

- ・ありがとうございました。どうぞお元気で

シスター 瀬戸口 カズ子 大分聖ヨゼフ修道院へ

お願い

以前にお願いした事がある 古いタオル・古い綿のシーツ・綿のシャツ類・古い綿製品を集めています。（捨てる物で結構です。白に近い物をお願いします。）

病人の汚物を拭いて捨てる物です。ご家庭にございましたら、ご寄付ください。もし切ってもらえたら（25cm角・フェイスタオルは4分の1・バスタオルは8分の1）大変助かりますが、そのままでも構いません。どうぞよろしくお願い致します。ヨハネ会修道院より

新井静香 迄ご連絡ください。どうぞよろしくお願い致します。

教会委員会議事録

2023.4.2(日)出席者 16 名

1. カトリック教会における教会委員会の位置付け

- ・山本一孝さんより解説の概略要旨
- ・教会委員会は、教会法上で「司牧評議会」に準ずるものであり最終決定機関ではない。
- ・主任司祭は法律上の規定に従って、すべての法的業務において小教区を代表する。

2. 70 周年記念実行委員会を立ち上げる

委員長:佐藤光良さん*記念的にあっさりしたもので考えている。*準備委員を募る(声掛けしていく)

3. 復活祭について

信徒館と園庭にて、千葉俊一司祭・山本一孝さんの歓送迎会と小さき花幼稚園園長退任及び着任者の紹介を兼ねて(記念品・花束贈呈)ミサの後にペットボトル(500ml)と乾きもののお菓子で会を開きたいと思います。(イースターのパーティはありません。)

***8 日土曜日午後 1 時よりイースターエッグ準備、卵のラッピングのお手伝いをお願い致します。**

***買い物(菓子;角幸子さん、飲み物;志村好直)*ゆで卵 150個(小林鶏卵へ頼む)+α**

***転入者の紹介(長澤さん夫妻)*9 日(日)AM9:00~準備**

***まず最初に全員で記念撮影(栗原さんに頼む)をします。**

4. 5 月の予定はこよみをご覧ください。

5. その他

① 【連絡網見直しについて】「LINE」を使用します。グループ分け

- 1、吉田地区 2、河口湖地区 3、都留・西桂地区 4、山中湖・忍野地区 5、日曜学校

*電話の方は世話役が連絡する。*ご復活祭後に LINE に招待して、始める。

② 16 日 営繕話し合い

③ **【今年度の副委員長】** 新井静香・江守香代子・佐藤光良になりました。宜しくお願い致します。

④ **【祈る力を育てる共同体チーム】** 太野隆**【信仰を伝える力を育てる共同体チーム】** 曾根美香**【神の愛を証しする力を育てる共同体チーム】** 和田一郎

⑤ **【オルガン指導】** 第一日曜を除く毎週ミサ後に典礼聖歌を弾けるように指導して下さる。小佐野・小林恵美子・宮下未輝?他の方でご希望がございましたらどうぞお申し出ください。歓迎致します。

こ よ み

5月

日付	教会暦	行事内容等	日曜 学校	聖堂清掃/備考
5/7(日)	復活節第5主日	教会委員会	○	河口湖・都留
5/14(日)	復活節第6主日	聖母祭(サレジオンシスターズ) 世界広報の日(献金)	○	インターナショナル・ 山中湖・忍野村
5/21(日)	主の昇天(祭日)	山梨地区宣教司牧委員会 @甲府教会	○	吉田
5/28(日)	聖霊降臨の主日 (祭日)		×	有志

※御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

5月14日 サレジオン・シスターズ山中雪の聖母修道院にて聖母祭
(聖母行列)があります。

参加ご希望の方は、参加希望リストに名前をご記入ください。

イタリア語教室(月曜10時):5月8日、22日、29日

手芸会(第二水曜日) :5月10日

6月以降の主な予定

※その他予定変更については、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします

5月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕	第1朗読	第2朗読	検温・香部屋
7	小山田匡宏		福永 好雄	曾根 美香	江守香代子
14	大野 隆		日曜学校	日曜学校	宮本 禮子
21	曾根 美香		和田 一郎	ヴ ティ ホア	角 幸子
28	江守香代子		葉山 孝夫	加々美 敦子	小林恵美子